

私はマレーシア出身の留学生と出会い、東南アジアと多国籍国家に興味を持ったことがきっかけでこの研修に参加しました。マレーシアでは多くの人々と交流し、また日本とは異なる文化に触れることができました。その中で特に印象的だった「英語学習」と「留学生宿舎での生活」について述べたいと思います。

### ◎英語学習

クラスは foundation, intermediate, advanced の 3 クラスに分かれており、レベル別授業が展開されていました。私は intermediate のクラスだったのですが、人数は 16 人ほどで日本人は 3 人しかおらず、ほとんどが中国人で、少数ですがインドやイエメンからの留学生もいました。授業はすべて英語で行われ、発言は自由で、間違えても笑われることはなかったです。むしろ、発言で困っている学生にはほかの学生が付け足すなどお互いの英語能力を高めようとする意識が見受けられました。午前は reading&writing と speaking&listening の 2 コマで構成されていて、どちらも IELTS のテキストをもとに進めました。授業の中でディスカッションをする時間も多く、スピーキングに弱い日本人はかなり苦戦している印象でした。これまで英語の日常会話ばかりを勉強してきた私にとって、日常で使う言葉ではなく授業などで用いられる学習言語で進める授業は新鮮でした。その反面、毎度の授業で英語表現の活用力のなさを感じました。

### ◎留学生宿舎での生活

留学生宿舎ではイスラムの食・生活・文化に深く接触した場所になりました。食堂ではたくさんのマレーシア料理があり、辛さが引き立てられたエスニックな食事をとることができました。トイレ事情も日本とは異なり、始めは戸惑いましたがだんだんと適応することができました。また宿舎にはほかの国から留学している学生も多く、その学生たちはみな友好的でした。留学生は私たちのことを本当に気遣ってくれ、会うと必ず挨拶を返してくれました。



ムスリムの方が多くいる国ということで日本と文化や慣習は全く異なるものでした。しかしほかの国の人々も思いやれるあたたかな人柄を持った人ばかりで、何度もその優しさに救われました。物質的には日本ほど潤っていないですが、精神的な余裕を持ち合わせた素晴らしい国で一か月過ごすことができ、心からよかったと思っています。